

軟白長ねぎ

担当者 技能研究員 三上 益由

試験課題名	品種比較展示圃
目的	本町に適した多収・高品質・良食味の品種を選定し、生産者への普及に資する
期待される成果	地域適合複合栽培による高品質生産並びに労働生産性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会長ねぎ部会

1 供試品種・資材

品種

※元蔵（武蔵野種苗） 白妙（渡辺採種場） 金長3号（ホクレン）

『下仁田（大学農園）』

※基準品種

『参考調査

2 耕種概要

土質～埴壤土

前作～ヒマワリ

播種日～3月21日 定植日～5月17日 収穫日～10月10日

栽植密度～畦幅80cm×株間5cm 25,000/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.45	0.111	39.8	68.9	118.7	660.9	6.7

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

太古の風化貝～100kg

高度燐特号～70kg

堆肥～2,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基肥～NS262(12-16-12-0) 5月17日 全層施肥

分肥～S444(14-4-14-6) 7月18日 側条施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K	Mg
基肥	NS262 80kg	9.6	12.8	9.6	0
分肥	S444 40kg	5.6	1.6	5.6	2.4
合計		15.2	14.4	15.2	2.4

4 調査項目

生育調査～播種日・発芽期・発芽率・生育日数

収量調査～全長・生葉数・軟白・全本数・規格内割合

規格内収量・調整率・平均一本重

5 生育調査

項目	品種	元蔵	白妙	金長3号	下仁田
播種日		3月21日			
発芽期		3月31日	4月1日	3月31日	4月4日
発芽率 (%)		98.0	99.5	99.3	98.0
生育日数		203日 (収穫日 10/10)			
全長 (cm)		87.2	86.7	79.4	72.9
生葉数 (枚)		9.0	8.5	10.0	8.0

6 収量調査

項目	品種	元蔵	白妙	金長3号	下仁田
規格内収量 (kg/a)		850	750	950	975
調整率 (%)		73.9	66.7	84.4	88.6
平均一本重 (g)		340	300	380	390
軟白 (cm)		36.8	34.8	31.5	23.8
規格内割合 (%)	3L (4 ~ 5本/kg当たり)	100	100	100	100
	2L (6 ~ 8本/kg当たり)	0	0	0	0
	L (9 ~ 11本/kg当たり)	0	0	0	0

7 病害虫防除履歴

殺虫剤			殺菌剤		
8月11日	トレボン乳剤	1,000倍	8月11日	アミスター20フロアブル	2,000倍
9月17日	アディオン乳剤	2,000倍	9月17日	ダコニール1000	1,000倍
9月25日	スミチオン乳剤	1,000倍			

8 試験結果概要

(1) 生育経過

育苗は3月21日ハウス内に直播をした。発芽期は3月31日に元蔵・金長3号が迎え、1日遅れて4月1日に白妙、更に3日遅れて4月4日に下仁田となり、各品種98%以上という良好な発芽率となった。

(2) 収量調査結果

- ① 全長調査では、元蔵が87.2cmと最も長く、次に白妙 86.7cm > 金長3号 79.4cm > 下仁田 72.9cmという結果となった。
- ② 規格内収量は、参考調査品種の下仁田が975kg/aと最も高く、続いて金長3号が950kg/a、元蔵 850kg/a、白妙 750kg/aとなり、調整率も下仁田が最も高く88.6%、金長3号 84.4% > 元蔵 73.9% > 白妙 66.7%であった。
- ③ 軟白の長さは、元蔵が36.8cmと最も長く、次に白妙が34.8cm、金長3号 31.5cmとなり、参考調査の下仁田は23.8cmという結果となった。

(3) 考察

元蔵・他3品種とも規格内割合ですべてが3L規格という優れた結果となった。なかでも金長3号は昨年を上回る収量 950kg/aとなり、高収量が望める品種であることが確認された。